

## 大岡地域ケアプラザにおける個人情報を保存したUSBメモリーの紛失について

- 概要**  
横浜市大岡地域ケアプラザにおいて、介護保険利用者の個人情報を入力した作業用「USBメモリー」が紛失した事が判明しました。
- 発生施設**  
名 称：横浜市大岡地域ケアプラザ  
所在地：横浜市南区大岡1丁目14-1  
指定管理者：社会福祉法人横浜市社会事業協会 理事長 高橋 勉
- 経過**  
7月22日(日) 15時45分頃  
職員Aが職場で利用者の記録をパソコンで入力、所内作業に利用していたUSBメモリーに記録した。  
7月23日(月) 9時00分頃  
職員Aが職場でUSBメモリーが見あたらないことに気づくが、自宅に持ち帰ったかもしれないと思い、帰宅後に探すが見付からなかった。  
7月24日(火)  
職員Aが、再度、自宅を探すとともに、利用交通機関に問い合わせたが発見できなかった。  
7月25日(水) 9時00分頃  
職員Aが所長に報告、再度机周り自宅を捜したが発見できなかった。  
7月26日(木)～30日(月)  
職員全員で施設内を捜索、本人も自宅を捜索するが発見できなかった。  
7月28日(土) 12時00分頃  
南警察署に遺失物届けを提出。  
7月31日(火) 10時30分頃  
大岡地域ケアプラザが南区福祉保健課に経過報告。
- 個人情報の内容**  
51名分の利用者基本情報(住所、氏名、生年月日、電話番号など)・介護予防サービス計画書・介護予防支援経過記録
- 原因**  
USBメモリーの適正な管理・保管について、徹底が不十分であったことが原因です。
- 今後の対応**  
今回の紛失により、個人情報が流失したかどうか、明らかではありませんが、対象となる利用者の方々に対して、まず電話でお知らせと謝罪を行うとともに、今後、正式に訪問し謝罪を行います。
- 再発防止策**  
(1) 今後、個人情報を扱う際の注意事項について職員研修を実施し、適正な管理を徹底します。  
(2) 区内地域ケアプラザ所長会(8月1日)を開催し、本件経過を説明の上、個人情報を取り扱うことの重要性を再度徹底いたします。